

循環器看護セミナー — 応用コース —

主催：エドワーズライフサイエンス株式会社

日時：平成21年8月1日(土)

13:00～16:50

会場：崎陽軒 6階会議室
横浜市西区高島2-13-12

TEL：045-441-8880

Program

※本プログラムは循環器領域の臨床経験3年以上でスワングantz・カテーテルに関する基本的な知識を習得されており、さらに一步進んだ血行動態管理を学びたい看護師の皆様を対象としております。

座長 山口 修 先生 横浜市立大学附属 市民総合医療センター 集中治療部部長

12:30 開場

13:00～13:10 オープニング

13:10～14:10 『血行動態モニタリングの最適化』

講師：永井 正一郎 先生 横浜市立大学附属 市民総合医療センター 麻酔科

スワングantz・カテーテルで得られる測定パラメータ(心拍出量、右心房圧、肺動脈圧、肺動脈楔入圧、体血管抵抗、 SvO_2 等)を確認後、医師の視点からデータの見方と治療への活かし方をご講義いただきます。また、低侵襲モニタリングとして、動脈圧心拍出量「APCO」と輸液反応性の新しい指標「SVV」、 SvO_2 と良い相関を示す中心静脈血酸素飽和度「ScvO₂」についてご説明していただきます。

14:10～14:20 休憩

14:20～15:20 『重症患者における血行動態モニタリング』

講師：吉田 久美恵 先生 海老名総合病院 集中治療室 看護係長
集中ケア認定看護師

スワングantz・カテーテル、フロートラックシステム使用時、看護師として必要な知識や注意点をご講義いただきます。また、ご施設で行っている患者管理・ケアのポイントをご説明していただきます。

15:20～15:40 休憩

15:40～16:40 『ケーススタディ』

座長、講師の先生方にスワングantz・カテーテル、プリセップカテーテル、フロートラックシステムで得られるデータを中心にケースをご提示していただきます。参加者の方々には考えられる病態、予測される治療やケアについてそれぞれ考えていただき、その後先生方に解説していただきます。

16:40～16:50 閉会



お申込みとお問合せ

1. お申込み方法 ◆本社移転にともない、FAX番号は下記の通りになります。連絡先にご注意願います。

6/19(金)～17:30 FAX:03-5213-5802

6/22(月) 9:00～ FAX:03-6894-0785

***6/19 17:30～6/22 9:00の間は移転作業のため不通となります。**

添付のお申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申込み願います。

受付後、申込確認書を送付いたしますので、セミナー当日にご持参下さい。

お申込み締め切りは、**7月23日(木)**とさせていただきます。また、お申込み後にキャンセルされる場合は、必ずご連絡願います。

※受付はお申込み先着順でございます。定員になり次第受付を終了致しておりますので、予めご了承ください。

2. 受講料

受講料はお一人様 **2,000円**です。当日受付にてお支払い願います。おつりのないようご用意ください。

3. お問合せ及びキャンセルのご連絡

当セミナーについてのご質問、お問い合わせ、及びキャンセルのご連絡は下記にて受け付けております。

エドワーズライフサイエンス株式会社 VCC事業部 担当/中川 梶浦

◆本社移転にともない、連絡先は下記の通りになりますので、ご確認の上ご連絡願います。

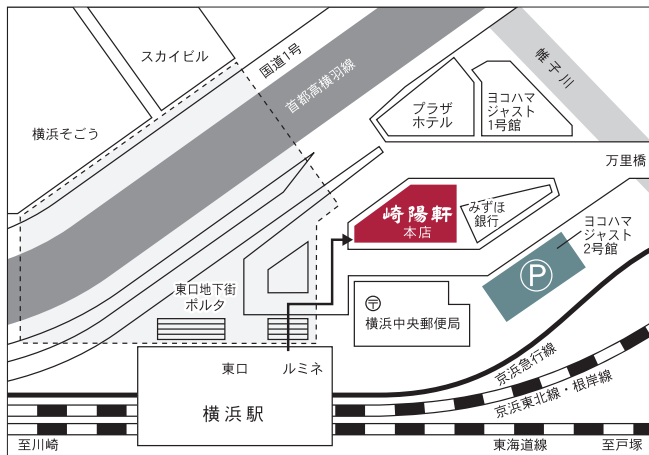
6月19日(金) 17:30まで TEL: 03-5213-5740 / FAX: 03-5213-5802

6月22日(月) 9:00以降 TEL: 03-6894-0610 / FAX: 03-6894-0785

***6/19 17:30～6/22 9:00の間は移転作業のため不通となります。**

※室内の空調設定についてはその都度対応いたしますが、全てのご要望に沿うことは難しいことを予めご了承ください。暑さ、寒さが苦手な方は服装には十分ご配慮ください。

会場のご案内

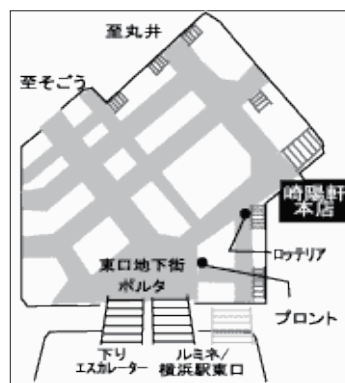


崎陽軒 6階会議室

横浜市西区高島2-13-12

TEL: 045-441-8880

http://www.kiyoken.com/rental/honten/h_access.html



■横浜駅:

横浜駅東口の階段を上がり、横浜中央郵便局の方へお越しください。郵便局の向かいです。

横浜駅東口地下街ポルタから直接つながっております。側面のエレベーターをお使い下さい

※駐車場はご用意しておりませんので公共交通機関にてご来場ください。



Edwards Lifesciences

エドワーズライフサイエンス株式会社